

第34回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会&講習会)

IIW 資格制度特認コース：J-ANB 認定講座
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座

「自動車製造工場見学と最近の自動車車体材料と接合技術」

主催：(社)溶接学会 東部支部

共催：(社)溶接学会 東部支部-神奈川県

協賛：日本機械学会，日本船舶海洋工学会，日本金属学会，日本材料学会，日本ロボット学会，日本鉄鋼協会，日本鋼構造協会，ステンレス協会，軽金属溶接構造協会，日本非破壊検査協会，腐食防食協会，日本溶接協会，日本溶接技術センター，日本工業出版，産報出版 (順不同，含依頼中)

趣旨：

様々な技術の粋が集められて製造が行われている自動車工業は，日本の製造業の先導的役割を果たしていることは言うまでもありません。今後の自動車における重要な課題は一層の軽量化・高性能化などであり，特に車体製造の生産技術においては品質確保およびコスト低減などの点から溶接・接合技術がキー・テクノロジーの一つであると言えます。

本講座では，自動車製造の工場見学を行うとともに，車体製造に用いられる金属材料と溶接・接合方法などに関する内外の最新技術動向を紹介し，平易に解説を行います。

溶接に関係する方々はもとより，自動車製造工場を見学できる機会としても，幅広く多くの方のご参加をお願い申し上げます。

開催日時：平成18年11月7日(火) 10:00~17:00

※受付開始 9:30~

開催場所：日産自動車株式会社 追浜工場

ゲストホール・中ホール

(神奈川県横須賀市夏島町1 Tel: 046-867-5013)

交通：京浜急行・追浜駅より徒歩約20分

(別途地図参照)

定員：80名(先着受付順，定員に達した時点で締め切らせて頂きます)

参加費：8,000円(学生：2,000円)(テキスト代を含む)

※1) 当日，昼食に弁当を用意致します(代金別：1,000円)。同時にお申込み下さい。

※2) 参加費，弁当代ともに当日受付。釣銭が不要なようにご協力願います。

申込締切：平成18年10月27日(金)

申込方法：必要事項(末尾の申込書式参照)を記入の上，電子メール，またはFAX，郵送で申し込み下さい。

申込先：東京大学大学院工学系研究科

技術経営戦略学専攻 武市祥司

e-mail: jwseast@triton.naoe.t.u-tokyo.ac.jp

Fax: 03-3816-2536 Tel: 03-5841-2771

受講ポイント：

①IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
計2.6ポイント

モジュール1：1.0ポイント

(M1.3：0.1，M1.4：0.2，M1.7：0.7)，

モジュール2：0.4ポイント(M2.1：0.2，M2.6：0.2)，

モジュール4：1.2ポイント(M4.1：0.1，M4.2：0.4，
M4.3：0.1，M4.4：0.2，M4.6：0.3，M4.7：0.1)

②ISO14731/WES8103 溶接管理技術者
再認証クレジットポイント：6ポイント

プログラム：

①10:00~10:05 開会の挨拶(東部支部支部長)

②10:05~12:00 日産自動車/追浜工場
見学会(日産自動車)

10:05~10:35 追浜工場および自動車製造工程の紹介

10:35~11:35 工場見学(60分)

11:35~12:00 見学後の質疑応答

※同業者の方には見学をお断りする場合があります。
あらかじめご了承願います。

③12:00~13:00 昼食(弁当)

参加申込時に弁当申込みもお願いします。

※付近の食堂利用は困難です。

④13:00~17:00 講演会「最近の自動車車体材料と接合技術」
13:00-13:50

「最新車体における鋼板の高張力化とアルミ化の現状と接合技術」

日産自動車(株)テクニカルセンター 中西栄三郎氏

自動車の車体において軽量化の重要性は増しており，比較的安価な利点からは高張力鋼板が有望視されており，また，軽量という利点からはアルミ合金の利用が限定された的ではあるが広まりつつある。本講演では，車体メタルの変遷を概観するとともに，最新車体の状況を説明し，強度信頼性の観点からの接合についての留意点について述べる。

13:50-14:40

「欧州における自動車ボディへのレーザー溶接適用の現状」
トルンプ(株) 門屋 輝慶氏

自動車製造では，切断・溶接・ろう付・表面改質などの工程にレーザーが採用されている。特に溶接工程では，従来は抵抗スポットで行われていたボディの溶接や，電子ビーム溶接で行われていたトランスミッションの溶接にもレーザー溶接が使用され始めている。欧州では，レーザー溶接の導入に積極的で，ボディに使用される亜鉛めっき鋼板のみならず，アルミニウムや機械構造用鋼などの材料も適用対象とされており，本講演ではこれらの実用例を紹介する。

14:40-15:00 休憩

15:00-15:50 「自動車用高張力鋼板の接合技術」

住友金属工業(株)総合技術研究所 泰山 正則氏

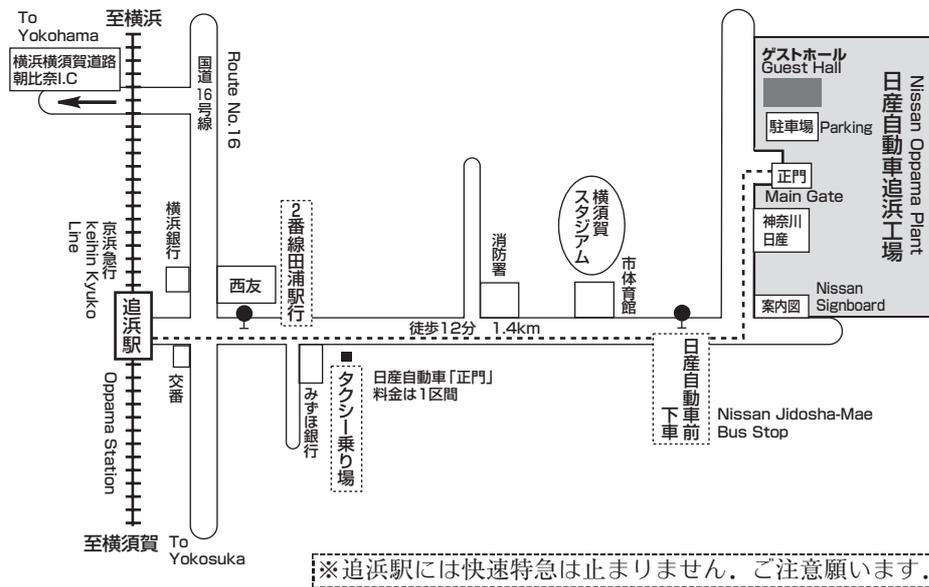
自動車車体の軽量化・高剛性化などの性能の向上を目指し、高張力鋼板が車体へ適用される度合いが高まっている。本講演では、主として薄鋼板に適用されるスポット溶接とレーザ溶接を取り上げ、高張力鋼板適用時の特徴及び溶接部の特性について紹介する。

15:50-16:40 「アルミと鋼との異種金属接合技術」
 (株) 神戸製鋼所 アルミ・銅カンパニー 技術部
 笹部 誠二氏

自動車において要求される特性やコストなどを考慮した軽量化の実現のためには、軽量材料であるアルミを中心とする金属材料を組み合わせる適材適所に適用することが必要である。本講演では、この適材適所化を可能とする異種金属接合技術の最近の適用状況や開発状況について紹介する。

16:40-16:55 質疑応答
 ⑤16:55~17:00 閉会の挨拶

■開催場所（日産自動車株式会社 追浜工場）案内図



■申込書式

以下の空欄に記入の上、電子メール、またはFAXで申し込み下さい。

申込先：東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 武市 祥司 宛
 e-mail: jwseast@triton.naoe.t.u-tokyo.ac.jp
 Fax: 03-3816-2536

第34回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講習会）申込書

(申込日： 月 日)

- 受講者名（漢字&ふりがな）： _____
 - 会員資格（○をつけて下さい）： _____ ・正会員 ・賛助会員 ・学生会員 ・非会員
 - 昼食弁当申込（参加費の他に1,000円必要、○をつけて下さい）： _____ ・要 _____ ・不要
- 付近の食堂などの利用は困難です。終日参加者は申込みをお勧めします。
- 勤務先/会社名・所属部課名 または通学先/大学名・所属学部学科名

 - 勤務先/通学先の連絡先
 ・住所： _____
 ・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____